USA School&College Competition 2017
USA Challenge Competition 2017 WEST

＜演技規定＞ 大学編成 Spiritleading部門

項　目	内　容
衣　装	自由とするが、年齢に相応で全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること
アクセサリー	衣装としてのアクセサリーは認める （肌や床を傷つける危険があるものは不可）
履　物	自由とする （靴下やタイツのみは禁止 ・ 床を傷つける危険があるものは不可）
手具・大道具	自由とする　※【補足】①参照
特　徴	ハーフタイムショーのようにショーアップされたスポーツエンターテイメント性のある内容
構　成	自由とする （テクニックは入れなくてもよい）
セーフティ 全　般	① 安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ② 手具・衣装・その他アクセサリー・装飾品は演技中に落下しないように配慮しなければならない ③ 怪我等の事情で、硬く曲がらない・表面に凹凸があるギプス・コルセットなどをする際は適切な素材でカバーすること ④ 手に全体重をあずける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない（例外：前転・後転）
タンブリング & トリック 個人で 実施するもの	**ダンススキルとしてのタンブリングは、＜有効技＞に限り実施できるが推奨されない。 実施する際は以下①～⑦を遵守すること** タンブリングおよびトリック（個人で行う場合） ＜有効技＞前転・後転・ショルダーロール・側転・ヘッドスタンド・倒立・バックベンド・前方/後方転回 ストール/フリーズ・ヘッドスピン・ウィンドミル・キップアップ・ロンダード・ヘッドスプリング（手の支持あり）・側方宙返り ＜禁止技＞前方/後方倒立回転跳び・前方/後方宙返り・サイドソミ・レイアウト（伸身宙返り）・シュシュノバ・ヘッドスプリング（支持の手なし） 飛び込み前転（すべての姿勢）・パートナーと組んだ状態での連続した側転・フロントエアリアル・トウピッチでの後方宙返り ① 手の支持のない空中技は禁止（例外：他のタンブリングに連続しない場合に限り、手の支持ありのヘッドスプリング/側宙の実施可） ② 手具を持っている状態での側宙は実施不可。手具は片手のみで持つこと ③ 腰が頭の高さを超える回転を伴う空中に浮くタンブリング技の連続技は、3つまでとする。例：3回連続の~~ハンド~~ヘッドスプリングは実施可。4回連続は不可。 例：3回連続の~~ハンドスプリング~~手の支持ありのヘッドスプリングは実施可。4回連続は不可。 ④ 腰が頭を超える体勢での回転を含むタンブリングをしている同士が、お互いの上・下を、通過・超えることは禁止 ⑤ 膝、腿、背中、肩、座位、うつぶせ、頭で、空中から演技フロアへ着地する場合、衝撃を抑えるため、 片手、または片足に先に体重が乗るように実施すること ⑥ 脚が体の前方にあるジャンプの状態から、脚を後方に動かして演技フロアに腕立て伏せ姿勢で着地することは不可 シュシュノバのバリエーションは全て禁止 ⑦ 空中に浮き、回転しない技で、逆さま姿勢になるものにおいて、直立/屈んだ状態から首、頭、背、手で着地するものについて後方に進入することは不可。 キップアップの動きは、すべて背と肩がフロアに触れている状態から入らなければならない。 （注意：このルールはラバーバンド/ブロンコ、キップアップや、後方にジャンプしてヘッドスタンド/倒立状態のストールに入る技に適用される）
ダンスリフト パートナーリング グループ/ペアで 実施するもの	**＜ダンスリフト・パートナーリングは、以下①～⑥に沿った動作でなければならない＞** ① 体重を主に支えているサポートダンサーは、リフトやパートナーリングを行っている間は演技フロア上に直接触れていること （例外：キックラインリープは実施可　※腕で横につながった状態で宙に浮く） ② エレベーター、サイスタンド、肩車、チェアシットは実施可。エクステンション、ショルダースタンドまた他のチアスタンツは実施不可。 ③ スウィングするリフトやトリックは、実施するダンサーの体が完全な回転をせず、常に仰向けの姿を保っていれば可。（うつぶせ姿勢は不可） ④ 動作を行うダンサーの腰が頭を超える回転は、以下の場合に実施可 サポートダンサーは、動作を行うダンサーが演技フロアに戻るまで、もしくは頭を上にした垂直姿勢に戻るまでの間、支え続けること ⑤ 動作を行うダンサーが倒立姿勢の場合は、以下の場合に実施可 a. 倒立するダンサーの肩の位置が、サポートダンサーの直立姿勢の肩の高さ以下であること b. 体重を主に支えるダンサーは、倒立するダンサーが倒立状態を終えて床につくまでもしくは頭を上にした垂直姿勢に戻るまでの間、支え続けること リリース（離す・離れる・放つ）動作について ⑥ サポートダンサーから、ジャンプ/リープ/ステップなどで離れる動作は、以下の場合に実施可 a. 離れた後の最高点において、実施するダンサーの腰が、直立姿勢での肩の高さを超えてはならない b. 離れた後、うつ伏せ/逆さま姿勢を通過してはならない c. トウピッチでの後方宙返りは実施不可 ⑦ トスする動作は以下の場合に実施可 a. トス後の最高点において、トスされるダンサーの腰が、直立姿勢での肩の高さを超えてはならない b. 仰向け/逆さま姿勢の状態からトスされてはいけない c. トス後に、うつ伏せ/逆さま姿勢になってはいけない d. トウピッチでの後方宙返りは実施不可

【 補　足 】①手具・大道具の設置　　演技中に使用する全ての手具・大道具は、選手自身でフロア内に運び入れ・設置・撤去できるものでなければならない